

品川区超短時間雇用シンポジウム

～多様な人材の強みを活かしたインクルーシブな環境～

超短時間雇用とは、週20時間未満の就労の機会の提供を通じて、長時間の就労が難しい障害のある方等に対して一般就労を促進するための取り組みです。

対象 超短時間雇用に関心がある企業や区民など

日時 令和8年2月16日(月)13:15～14:45

開場12:45 ※Zoomの場合は、13:00開場となります。

開催場所 品川区役所講堂(品川区広町2-1-36第3庁舎6階)

プログラム

13:15～13:20 区長挨拶

13:20～13:40 特別講演 超短時間雇用雇用の可能性と最近の動向
東京大学先端科学技術研究センター 社会包摂システム分野
教授 近藤 武夫氏

13:40～14:05 品川区における超短時間雇用の取組報告
品川区超短時間雇用促進窓口みつけ コーディネーター 平賀 真美氏

14:05～14:25 事例報告
株式会社コトブキホームセンター 代表取締役 林 功太郎氏
社会福祉法人品川区社会福祉協議会 にじのひろば所長 皆川 綾乃氏

14:25～14:40 トークセッション

14:40～14:45 閉会挨拶

講師

近藤 武夫 氏

東京大学先端科学技術研究センター
社会包摂システム分野 教授

教育と雇用・労働において様々な障害や疾患のある人々を包摂できる社会を実現するため、超短時間雇用モデル等のインクルーシブな雇用システムに関する研究を行っている。



コーディネーター

松清 あゆみ 氏

東京大学先端科学技術研究センター
社会包摂システム分野 特任助教

小児専門の理学療法士としての臨床業務も継続しつつ、現在は東大先端研で多様な働き方を創出する地域システムの実現に向けて活動中。



【参加費】無料

【定員】

会場100名

オンライン40名

※事前申込は不要
オンラインが定員超過の場合は先着順

